

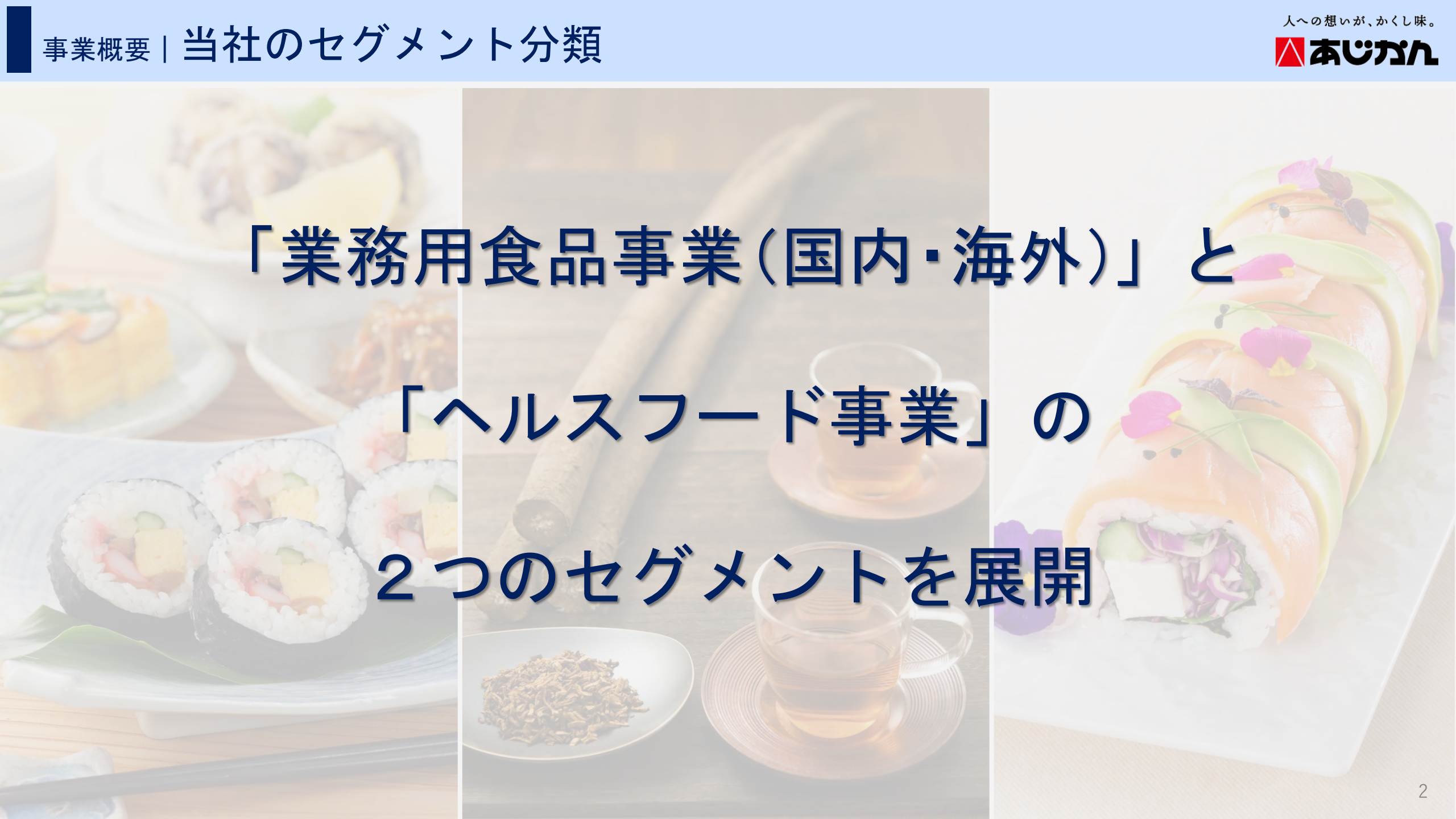
2025年11月11日

2026年 3 月期 第 2 四半期（中間期） 決算概要

人への想いが、かくし味。



(単位：百万円)	2025年 3 月期 第 2 四半期 連結会計期間	前年同期差	前年同期比	2026年 3 月期 第 2 四半期 連結会計期間
売上高	25,093	▲150	99.4 %	24,943
売上原価	18,202	+736	104.0 %	18,938
売上総利益	6,891	▲887	87.1 %	6,004
販売費及び一般管理費	5,589	+263	104.7 %	5,852
営業利益	1,301	▲1,149	11.7 %	152
(利益率)	5.2 %	—	—	0.6 %
経常利益	1,337	▲1,077	19.4 %	260
親会社株主に帰属する 中間純利益	922	▲743	19.5 %	179
(利益率)	3.7 %	—	—	0.7 %
EPS	121.16 円	▲97.53 円	—	23.63 円



「業務用食品事業（国内・海外）」と

「ヘルスフード事業」の

2つのセグメントを展開



メニュー提案で他社と差別化！

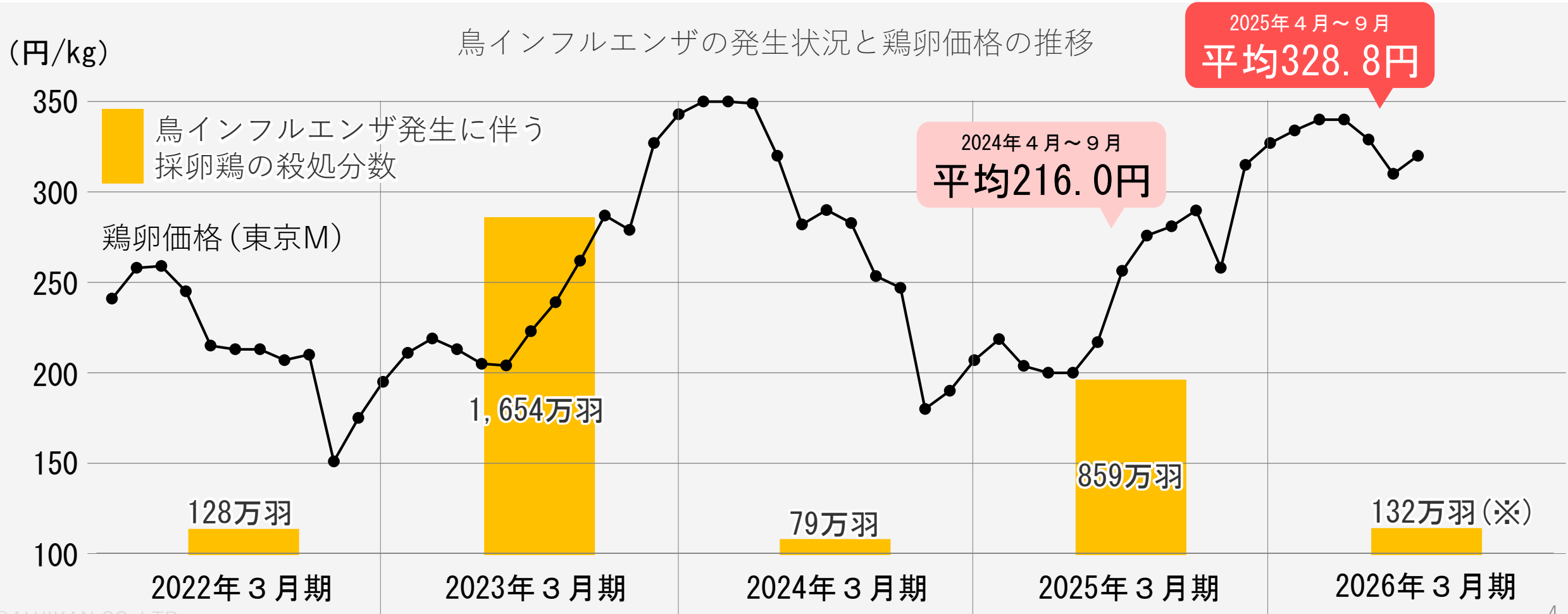
鶏卵加工品・巻寿司具材の

リーディングカンパニー

POINT

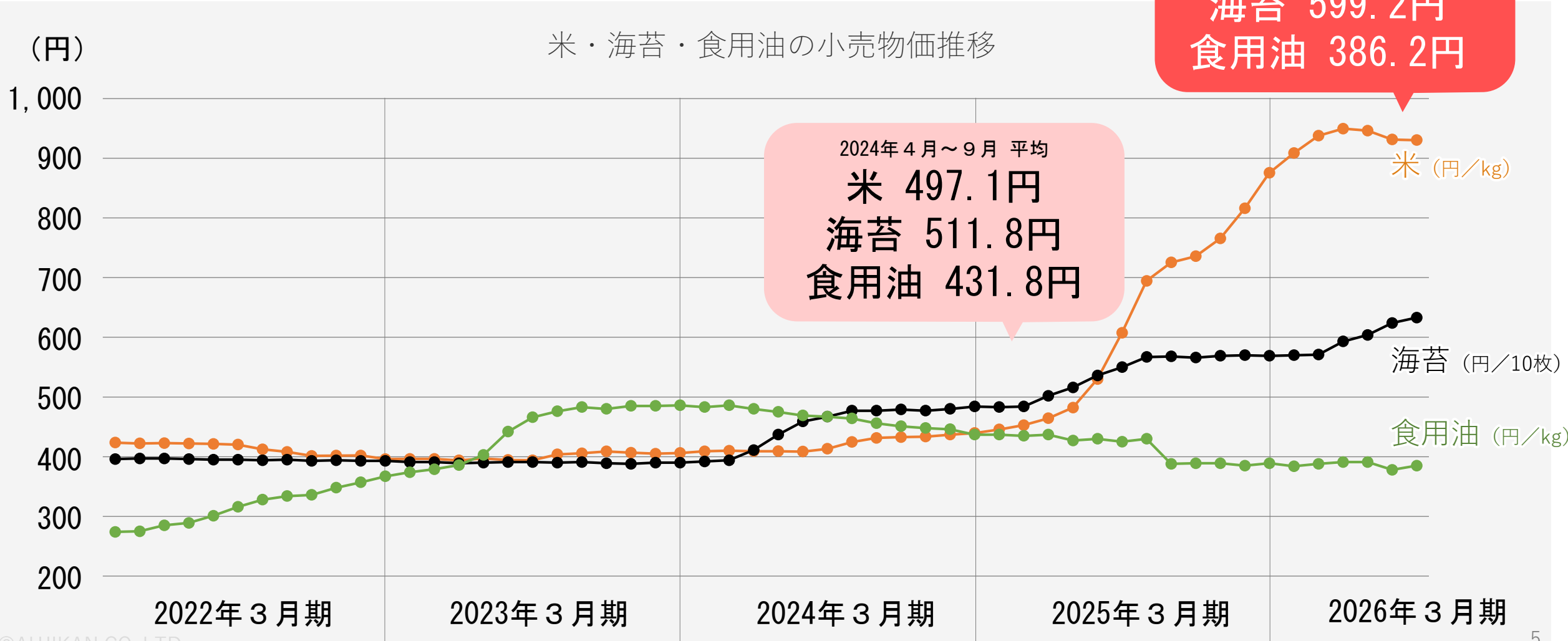
- メーカー兼卸売りの製造直販
- 業務用巻寿司具材でトップクラスのシェア
- 玉子焼等の鶏卵加工品でトップクラスのシェア
- 1万点以上の商品ラインナップ

- ✓ 鳥インフルエンザの発生に加え、夏場の猛暑の影響で鶏卵価格が高騰
物流費や人件費等のコストも上昇



- ✓ 米や海苔の高騰に伴い巻寿司の販売量が低下し、玉子焼やカニ風味蒲鉾、干瓢などの巻寿司具材の売上が低下

2025年4月～9月 平均
 米 934.0円
 海苔 599.2円
 食用油 386.2円



✓ 大手ホテルチェーンなど新規業態への販売強化



■ ホテルの朝食バイキングの採用メニュー例

厚焼玉子



筑前煮



ごぼうサラダ



かぼちゃ煮

鶏卵加工品・巻寿司具材・ 和惣菜のニーズが増加

POINT

- 中国で2工場を展開。現地での製造直販を強化
- アメリカに現地法人を設立し、販売強化
- アジア・EU新規エリアへ販売拡大
- 和食はユネスコ無形文化遺産



✓ 品揃強化や海外での展示会出展による販売促進活動を強化



■ 海外での主な販売製品



▼ 厚焼玉子

米国のProp. 12の影響で販売低下するも
香港・シンガポールなどで販売拡大



▼ 刻みきんし

大手回転寿司チェーン向けに外食の販売拡大



▼ カニ風味蒲鉾

中国の日本からの水産品輸入不可の継続

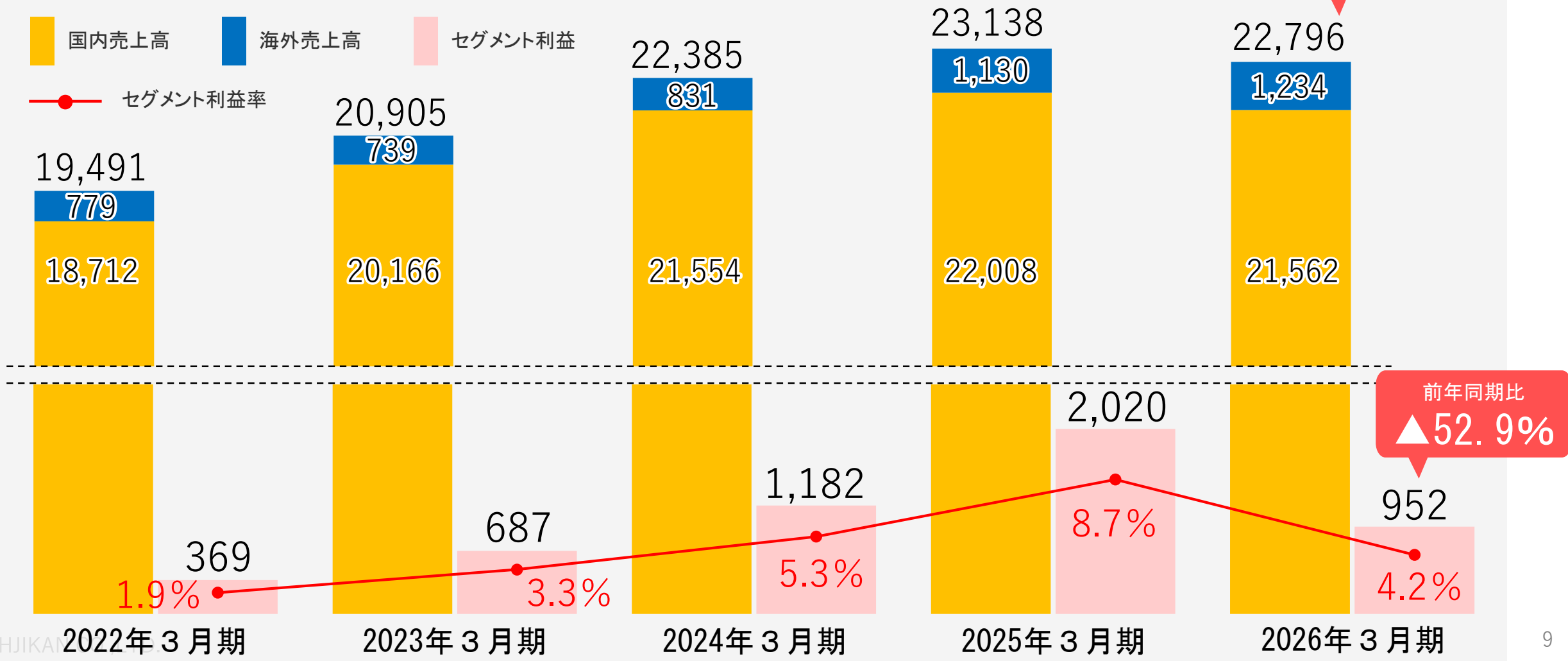


▼ その他製品

マヨネーズ加工品、野菜加工品、ハラル認証
対応商品などを販売

減収減益：国内の売上高の低下に加え、主要原材料・人件費・物流費の高騰によりセグメント利益が前年同期比52.9%と大幅に減少

業務用食品事業の売上高とセグメント利益の推移(単位：百万円)





ごぼうの機能性を研究

健康茶市場の拡大を牽引

POINT

- あじかん初の一般消費者向け製品
- 日本初「ごぼう茶」を機能性表示食品として販売
- ごぼう茶以外のスープやチョコレート様食品など新たな美味しくて健康によい商品も開発
- サプリメントへも挑戦

- ✓ 主要原材料のごぼうが高値で推移
- ✓ 機能性表示食品のごぼう茶の売上が好調に推移

▼ おいしい！ごぼう茶

当社初のペットボトルタイプのごぼう茶
購入者層の拡大に繋がり、売上増加



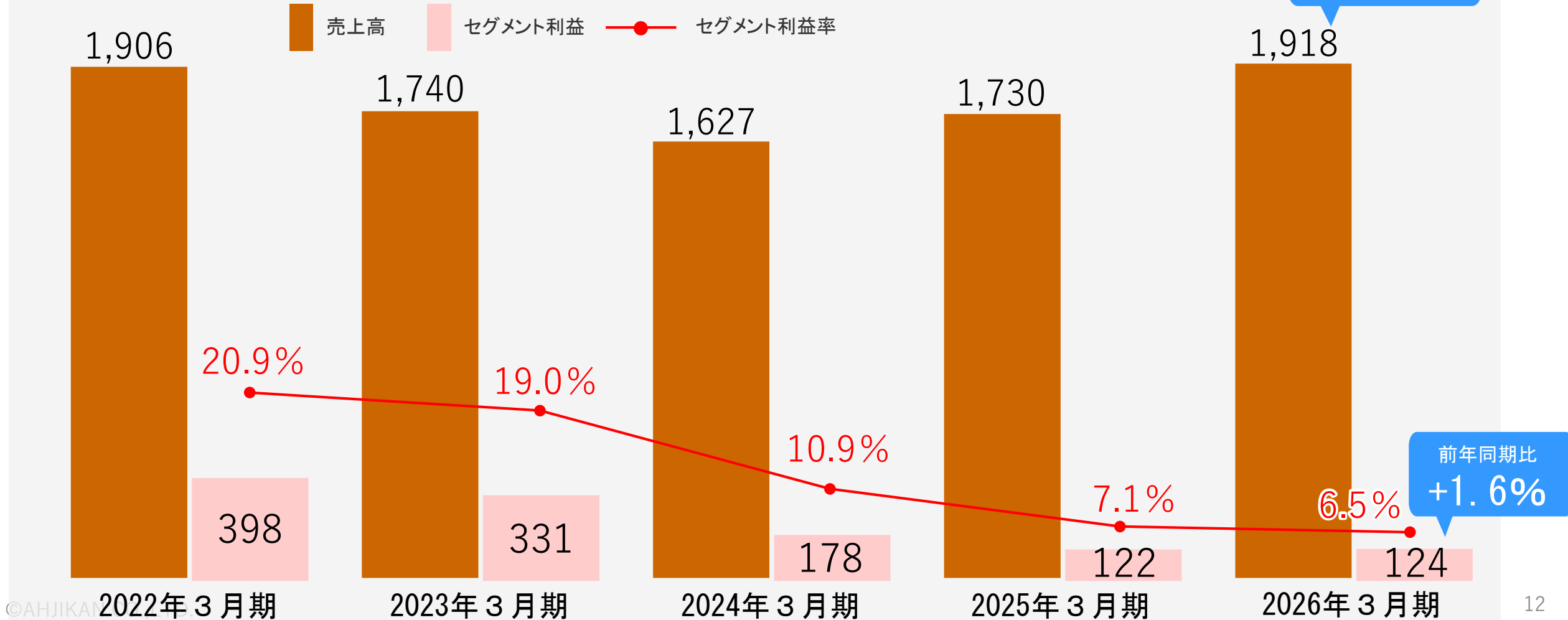
▼ 国産焙煎ごぼう茶 ごぼうのおかげW

便通改善機能とお腹の脂肪を減らす効果のある機能性表示食品として、販売が好調

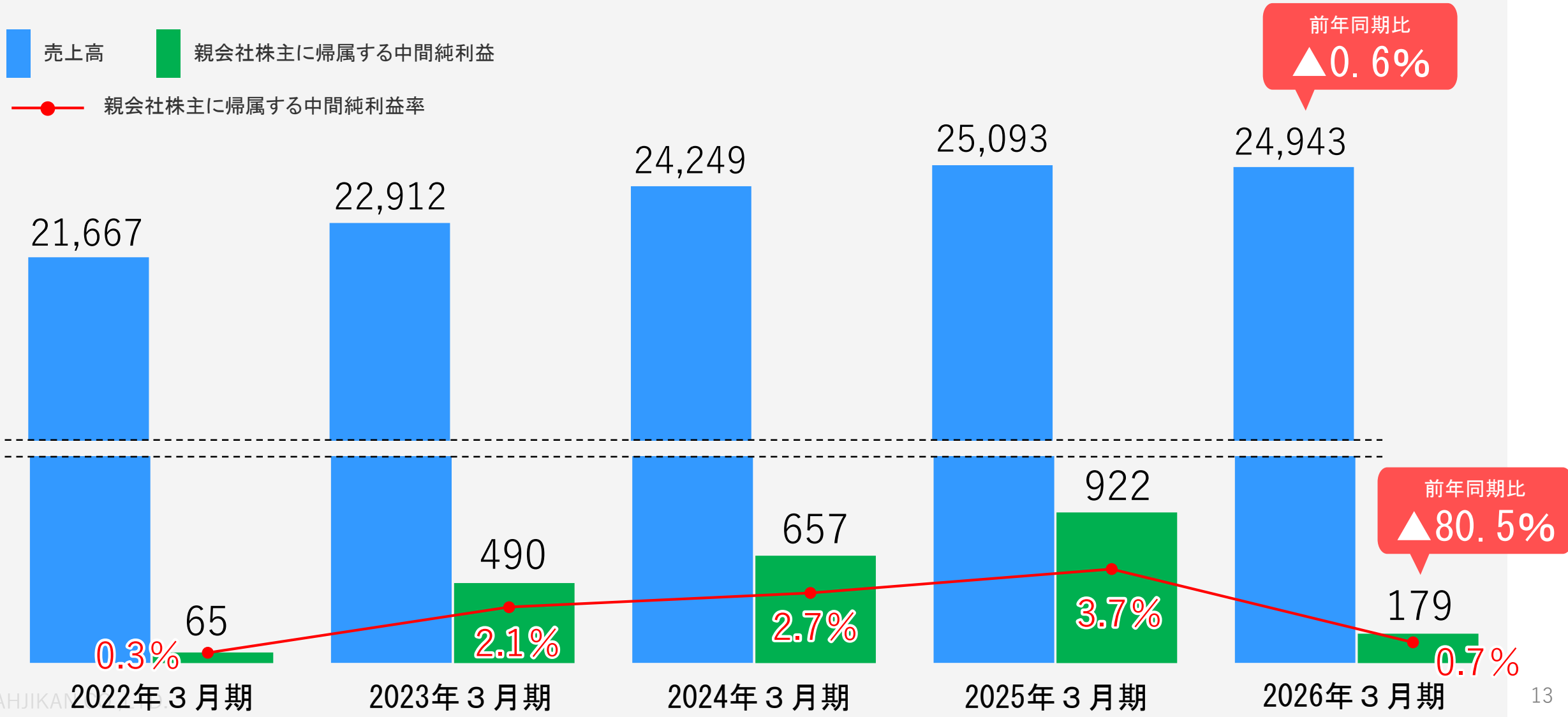


増収増益 : 売上高が拡大したことで、セグメント利益は前年同期比1.6%増加したが
: 主要原材料の高騰や広告宣伝の積極的な展開などによりセグメント利益率は低下した

ヘルスフード事業の売上高とセグメント利益の推移(単位: 百万円)



売上高と親会社株主に帰属する中間純利益の推移（単位：百万円）



売上高

5 月14日公表
52,000百万円

↓

増減率 ▲1.9%

51,000百万円

営業利益

5 月14日公表
1,750百万円

↓

増減率 ▲37.1%

1,100百万円

経常利益

5 月14日公表
1,850百万円

↓

増減率 ▲29.7%

1,300百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

5 月14日公表
1,220百万円

↓

増減率 ▲26.2%

900百万円

EPS
1 株当たり当期純利益

5 月14日公表
160.30円

↓

118.25円

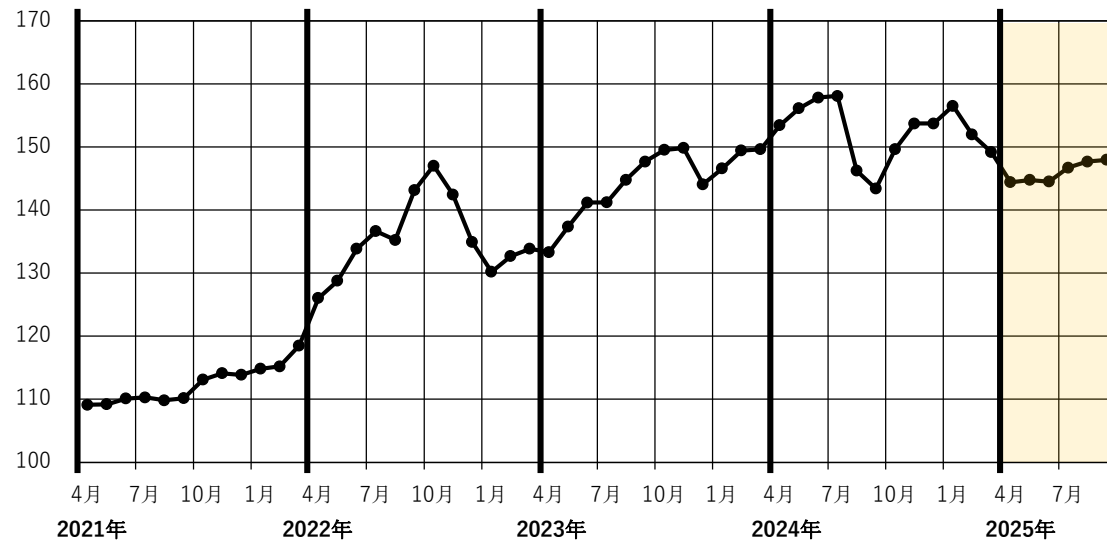
	2022年 3 月期	2023年 3 月期	2024年 3 月期	2025年 3 月期	2026年 3 月期(予想)
EBITDA	1, 616 百万円	1, 151 百万円	2, 837 百万円	3, 155 百万円	2, 400 百万円
PBR 株価純資産倍率	0. 5 倍	0. 4 倍	0. 6 倍	0. 5 倍	— (目標 1. 0 倍以上)
ROIC 投下資本利益率	2. 1 %	0. 3 %	5. 8 %	6. 5 %	3. 5 %
ROE 自己資本利益率	4. 7 %	1. 9 %	10. 1 %	9. 3 %	5. 1 %
DOE 株主資本配当率	0. 9 %	0. 9 %	1. 3 %	1. 4 %	2. 2 %
1 株配当	15. 00 円 普通配当 15. 00 円	16. 00 円 普通配当 15. 00 円 記念配当 1. 00 円	25. 00 円 普通配当 15. 00 円 特別配当 10. 00 円	30. 00 円 普通配当 25. 00 円 特別配当 5. 00 円	52. 00 円 普通配当 52. 00 円

人への想いが、かくし味。

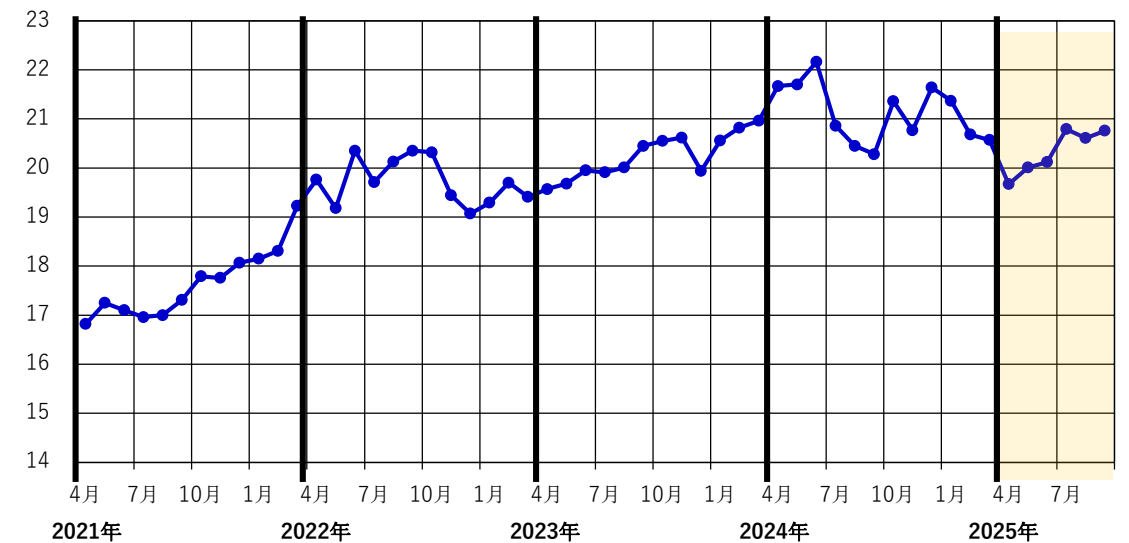


Appendix

■為替平均価格（円／ドル）



■為替平均価格（円／元）



(円/時)

厚生労働省ホームページより出典

年次	平均時給 (円/時)
2016年 3月期	795
2017年 3月期	820
2018年 3月期	845
2019年 3月期	875
2020年 3月期	900
2021年 3月期	900
2022年 3月期	930
2023年 3月期	960
2024年 3月期	1,005
2025年 3月期	1,050
2026年 3月期	1,120

統計局ホームページ/消費者物価指数 (CPI) より出典

年	月	光熱・水道	電気代	ガス代
2021	4月	99	96	99
2021	7月	101	100	100
2021	10月	102	101	101
2022	1月	104	103	105
2022	4月	114	116	114
2022	7月	116	118	118
2022	10月	118	122	122
2023	1月	124	131	133
2023	4月	110	105	122
2023	7月	107	98	118
2023	10月	102	95	105
2024	1月	107	105	110
2024	4月	108	105	115
2024	7月	119	123	120
2024	10月	111	108	114
2025	1月	119	122	120
2025	4月	121	124	121
2025	7月	119	122	116
2025	10月	112	112	115

[illegible]

(単位：百万円)	2025年 3 月期 第 2 四半期 連結会計期間	前年同期差	2026年 3 月期 第 2 四半期 連結会計期間
営業キャッシュ・フロー	2, 349	▲2,049	300
投資キャッシュ・フロー	▲55	▲465	▲520
財務キャッシュ・フロー	▲1, 398	+ 1,420	22
現金等の増減額（▲：減少）	950	▲1,186	▲235
総資産	27, 480	▲532	26, 948
借入金	4, 179	▲767	3, 412
純資産	16, 753	+ 549	17, 302
（自己資本比率）	61. 0 %	—	64. 2 %

(単位：百万円)	2025年 3 月期 第 2 四半期 連結会計期間	前年同期差	前年同期比	2026年 3 月期 第 2 四半期 連結会計期間
売上高	24, 531	▲207	99. 2 %	24, 324
売上総利益	6, 726	▲885	86. 8 %	5, 841
販売費及び一般管理費	5, 458	+288	105. 3 %	5, 746
営業利益	1, 267	▲1, 173	7. 4 %	94
(利益率)	5. 2 %	—	—	0. 4 %
経常利益	1, 231	▲1, 080	12. 3 %	151
中間純利益	841	▲739	12. 1 %	102
(利益率)	3. 4 %	—	—	0. 4 %
EPS	110. 51 円	—	—	13. 41 円
総資産	25, 500	▲346	98. 6 %	25, 154
純資産	15, 561	+663	104. 3 %	16, 224